

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-161970

(P2004-161970A)

(43) 公開日 平成16年6月10日(2004.6.10)

(51) Int. Cl.⁷

F I

テーマコード (参考)

C08L 21/00

C08L 21/00

4J002

B60C 1/00

B60C 1/00

A

C08K 3/00

C08K 3/00

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願2002-364450 (P2002-364450)

(71) 出願人 502454433

(22) 出願日 平成14年11月11日 (2002.11.11)

結城 金隆

富山県富山市水橋伊勢屋381番地

(72) 発明者 結城 金隆

富山県富山市水橋伊勢屋381番地

Fターム(参考) 4J002 AC001 DM006 GN01

(54) 【発明の名称】 サンドタイヤ

(57) 【要約】

【目的】 タイヤのゴム質部に砂を混入することによって、タイヤの磨耗が少なくなり、寿命が増大すると共に、接地面に対する制動効果が大となり、事故防止につながる。

【構成】 タイヤの種類により

【1】 タイヤのゴム質部全体に砂を混入する。

【2】 タイヤと地面との接地部分（溝のある部分）にのみ砂を混入する。但し、接地部全体に混入してもよいし、又部分的に混入してもよい。

【選択図】 なし。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

自動車用タイヤに砂を混入する。

タイヤの種類により、タイヤ全体に砂を混入する場合、又接地部（溝のある部分）にのみ砂を混入する場合で、接地部全体に混入してもよし、又部分的に砂を混入してもよい。

混入砂は、タイヤの種類、用途により砂粒の大、小及び、硬質砂、軟質砂を使用し、混入割合を調整する。

【発明の詳細な説明】

【0001】

本発明は、タイヤのゴム質部へ砂を混入することにより、タイヤの摩耗が少なくなりタイヤの寿命が長くなる。 10

【0002】

本発明は、タイヤのゴム質部へ砂を混入することにより、制動時に接地面に対し接地抵抗が大きくなり、スリップ（横スベリ含む）による事故防止につながる。

PAT-NO: JP02004161970A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2004161970 A
TITLE: SAND-CONTAINING TIRE
PUBN-DATE: June 10, 2004

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YUKI, KANETAKA	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YUKI KANETAKA	N/A

APPL-NO: JP2002364450

APPL-DATE: November 11, 2002

INT-CL (IPC): C08L021/00, B60C001/00 , C08K003/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a sand-containing tire, reducing the abrasion and prolonging the duration of a service life together with improving the braking performance of the grounded surface by including sand in the rubber part of a tire.

SOLUTION: An automobile tire is included with sand in accordance with a type of a tire. Some types of tire contains sand in its whole area and other types of tire may contain sand only in its whole or partial ground contacting area (tread surface). Sand to be contained is different in particle sizes and in selection of hard sand or soft sand, and is adjusted in a content ratio by type or by use of a tire.

COPYRIGHT: (C) 2004, JPO